音と暮らす家

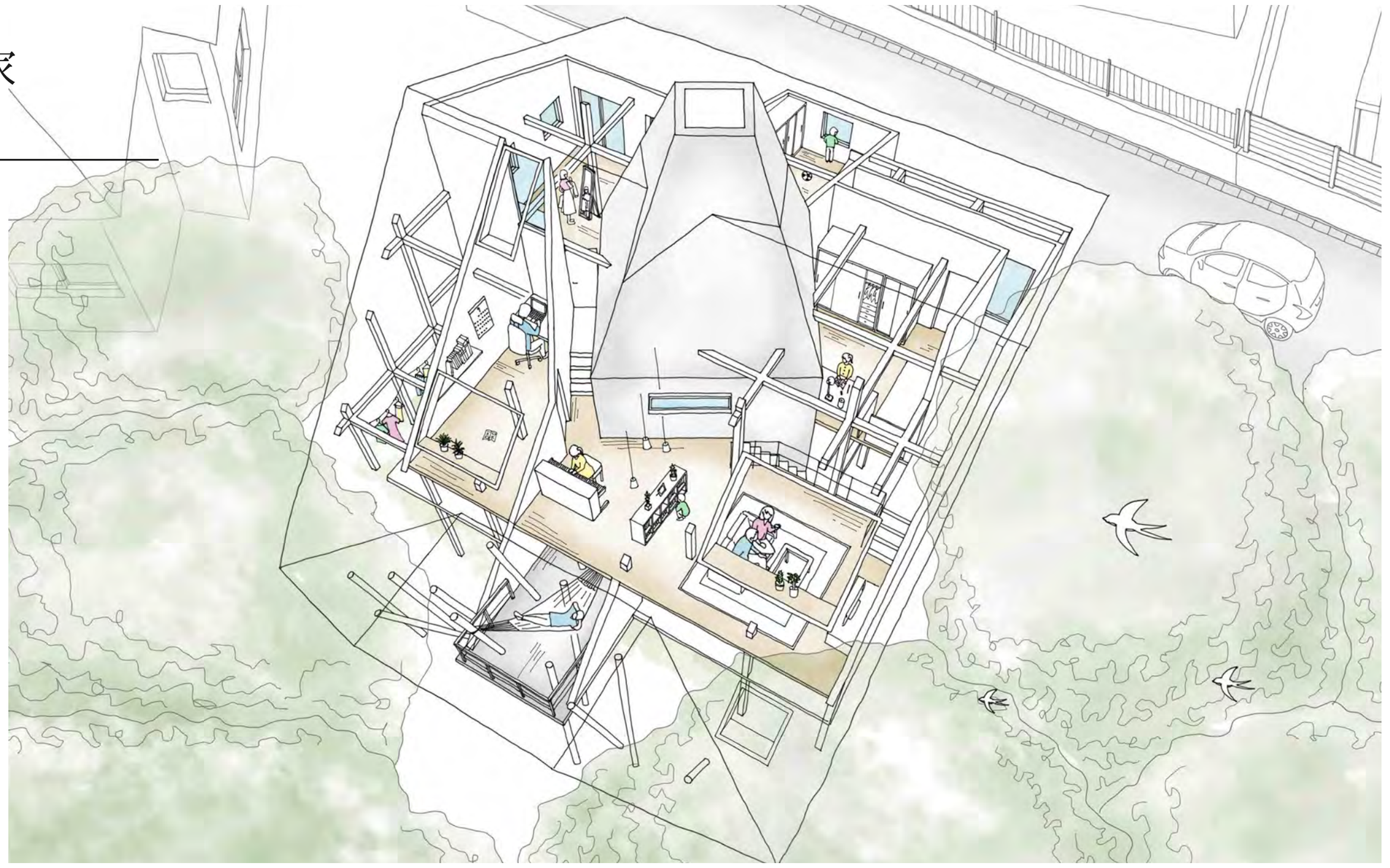
1. Concept

１日は音を聞いて始まり、音を聞きながら終わる。 私たちは毎日、無数の音空間と共に生活している。

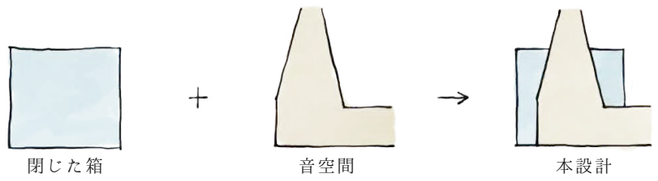
それはやさしい空間であったり暖かい空間であったり。そしてときには緊迫した空間、寒々とした空間であったりする。

我々が音から受ける心理的影響は計り知れないものがある。日々の喜怒哀楽と共にいつもそこには音空間、音楽空間がありそれは意識の領域を超えたところでも影響しているもの。

私達は住宅内部に自然の一部である音空間を設け、ある時は癒され、ある時は自然の猛威を感じ、一つの住宅で人と自然が共存した空間が必要だと考えた。



2. Diagram



現在の住宅は閉じた箱としての機能が優先され、音に対する考え方は騒音や振動といった負のイメージばかりが大きくなっている。
本設計では住宅を閉じた箱ではなく開けた箱と捉え、外部と繋がった音空間を住宅内部に挿入することで、生活や自然の中で感じ取る音の感触を大切にした居住空間を提案した。

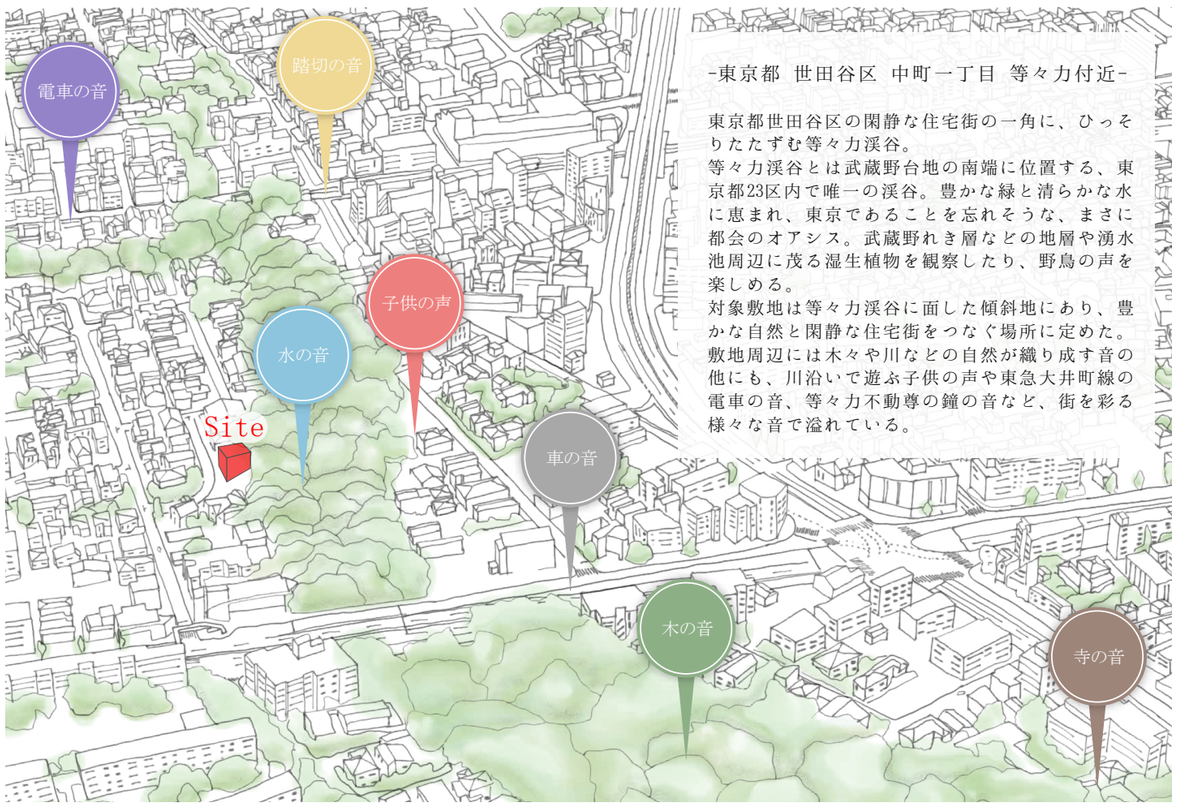
3. Life style

お父さん	35歳	職業：システムエンジニア
お母さん	34歳	職業：パート
娘	9歳	小学4年生
息子	6歳	小学1年生

家族四人暮らし

息子の小学校入学のタイミングで首都圏へのアクセスが良く、豊かな自然に恵まれた等々力に引っ越してきた。幼い子供たちは目にした風景、空気、匂いを音とともに感じることで日々の生活は常に自然と一体であることを学ぶ。

4. Site & Sound Map



-東京都 世田谷区 中町一丁目 等々力付近-

東京都世田谷区の閑静な住宅街の一角に、ひっそりたたずむ等々力渓谷。
等々力渓谷とは武蔵野台地の南端に位置する、東京都23区内で唯一の渓谷。豊かな緑と清らかな水に恵まれ、東京であることを忘れそうな、まさに都会のオアシス。武蔵野れき層などの地層や湧水池周辺に茂る湿生植物を観察したり、野鳥の声を楽しめる。
対象敷地は等々力渓谷に面した傾斜地にあり、豊かな自然と閑静な住宅街をつなぐ場所に定めた。敷地周辺には木々や川などの自然が織り成す音の他にも、川沿いで遊ぶ子供の声や東急大井町線の電車の音、等々力不動尊の鐘の音など、街を彩る様々な音で溢れている。

5. Cross section

ガレージ

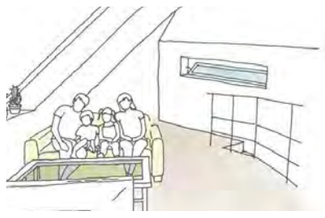
エンジン音は出発の合図

DIY

日曜日は工作音が家族の目覚まし

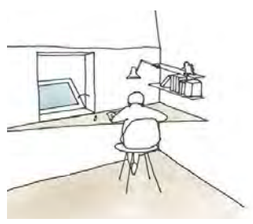
キッチン

調理の音が食欲をそそる



リビング

雨音が聞こえた日はお家でゆっくり



子供部屋

川の音でリラックスして勉強

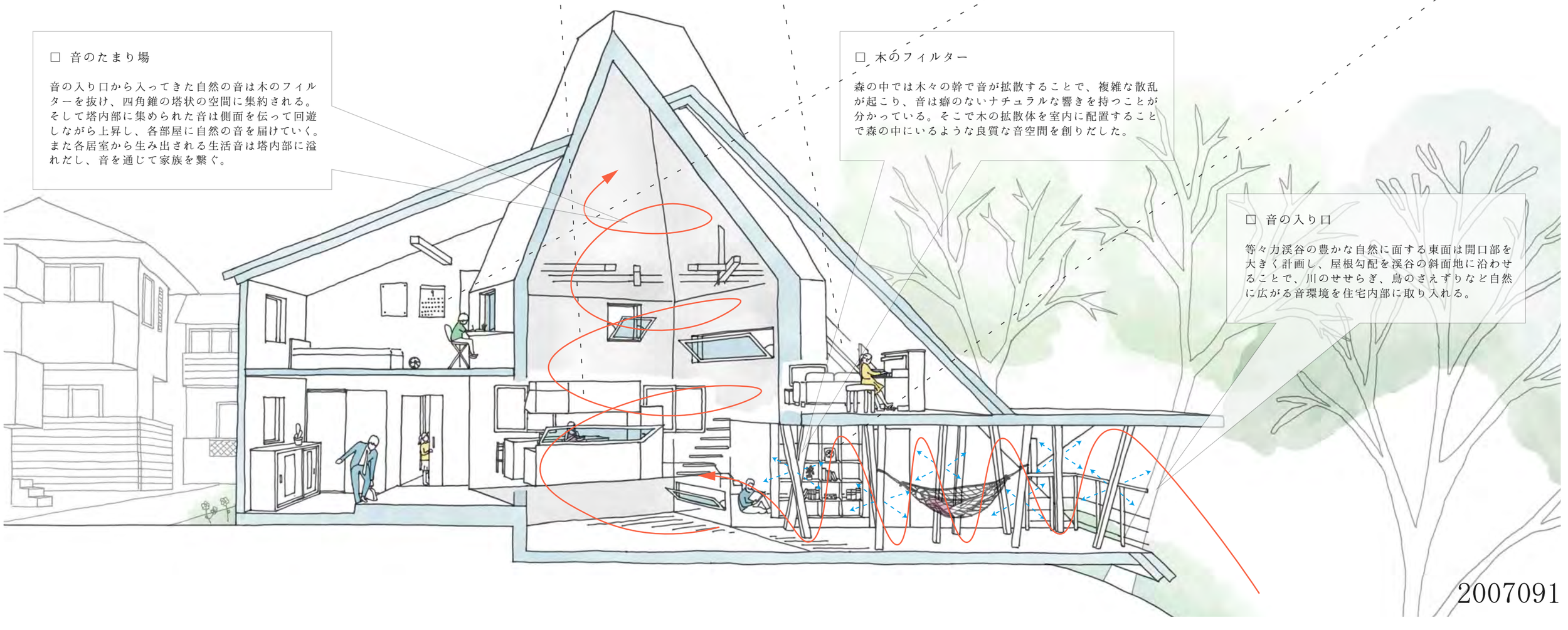
お風呂

お父さんの鼻歌が響く

和室

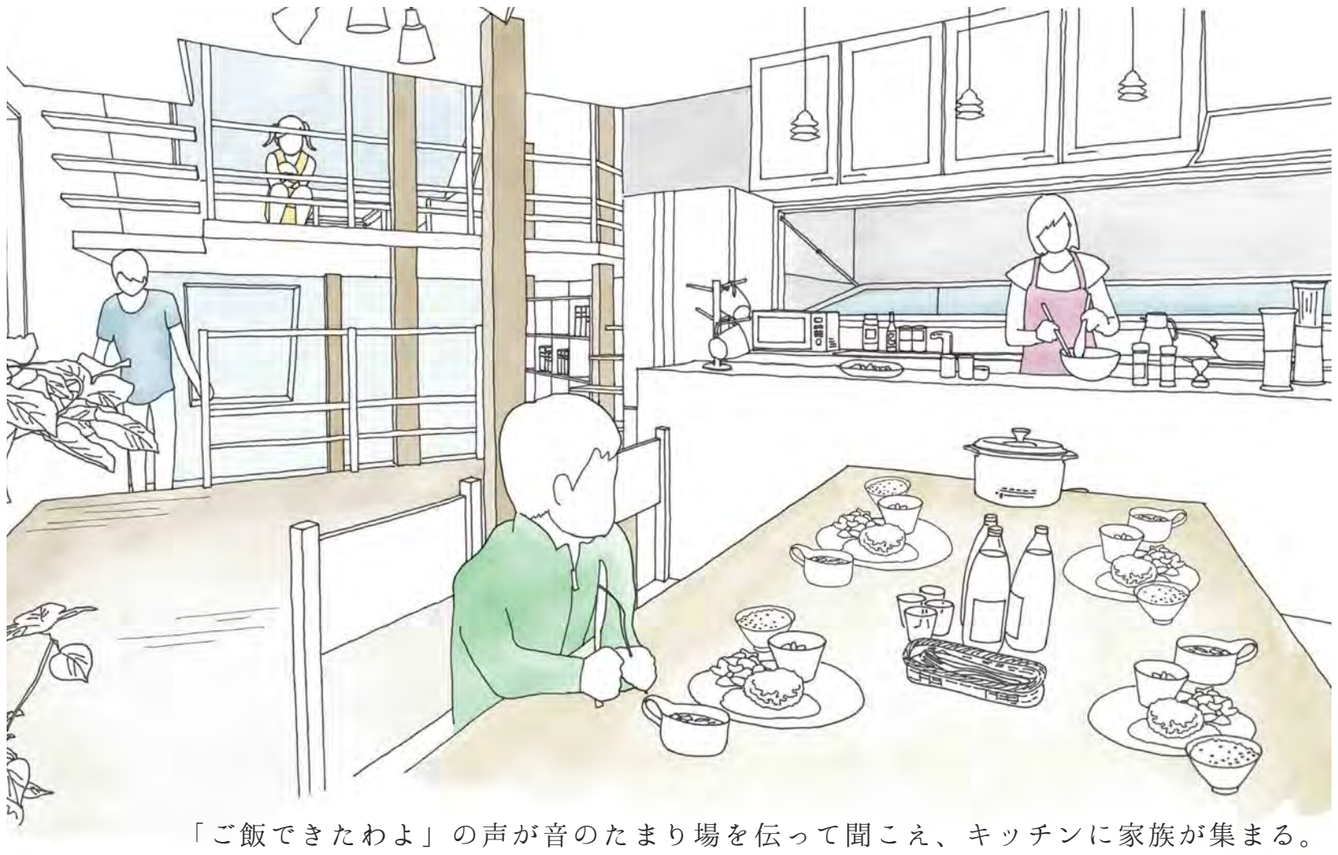
鳥のさえずりを聴きながら読書

賑やか ← → 憩い

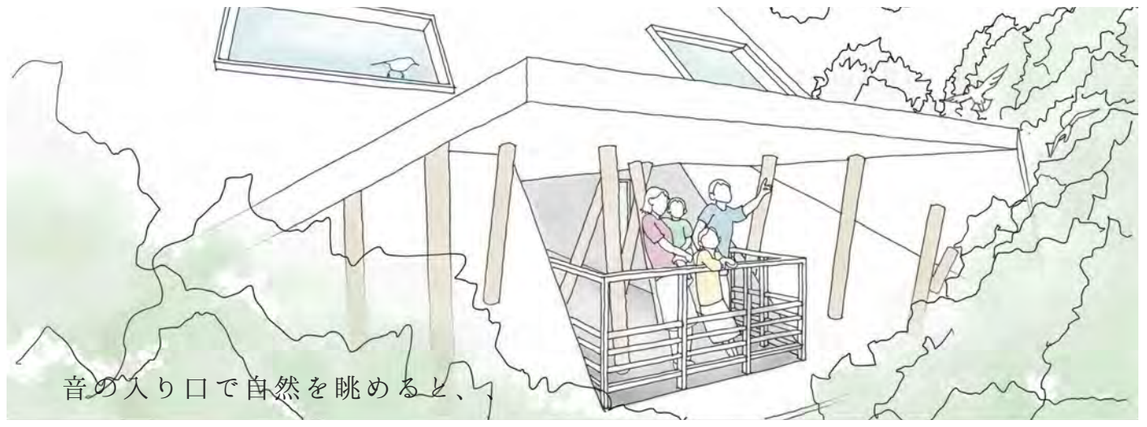


2007091

6. Perspective



「ご飯できたわよ」の声が音のたまり場を伝って聞こえ、キッチンに家族が集まる。

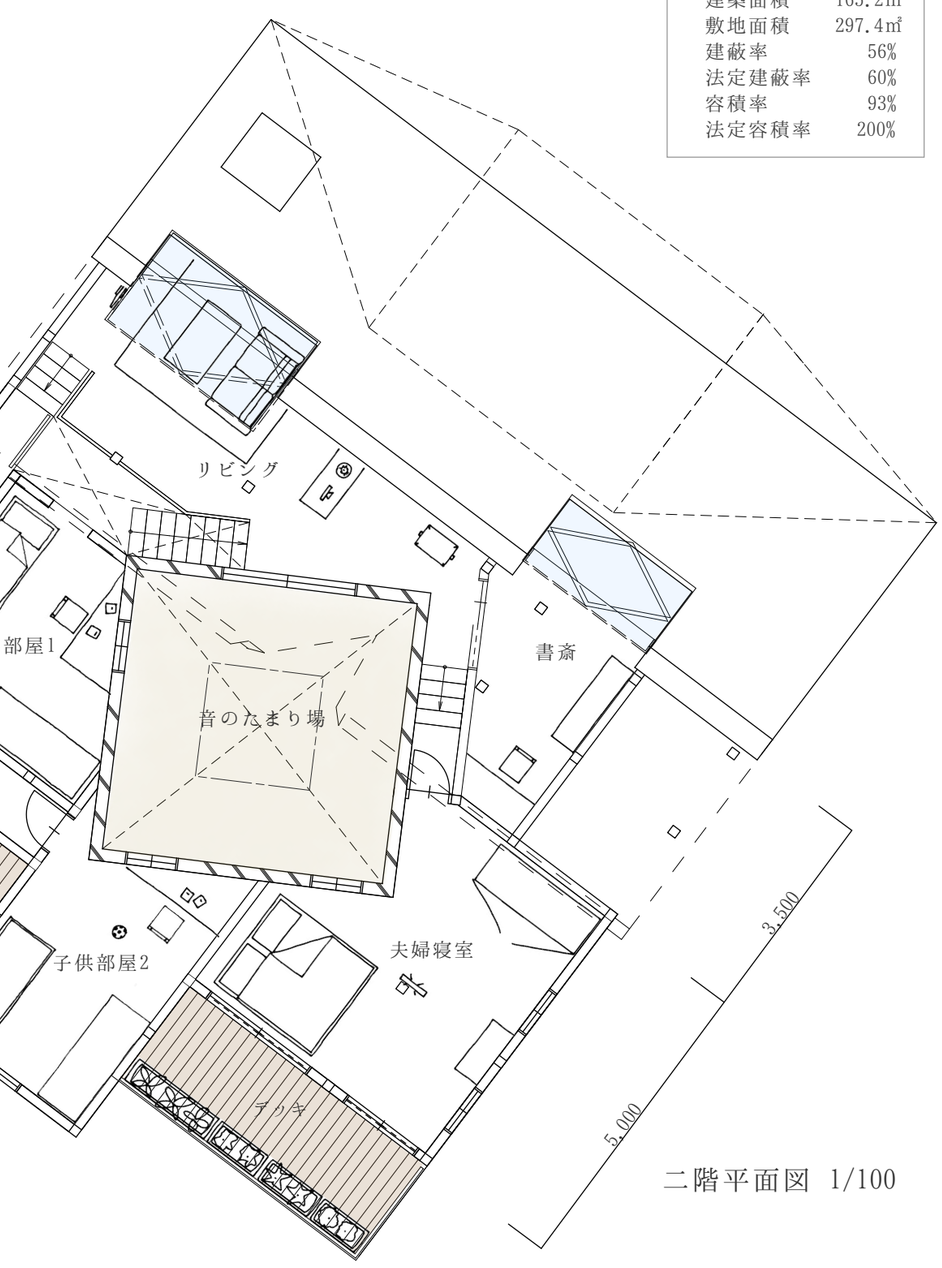


音の入り口で自然を眺めると、

お家の中心に降り注ぐ自然の音

7. Drawing

配置兼一階平面図 1/100



二階平面図 1/100

8. About timber

内装材　　ヒノキ無垢材

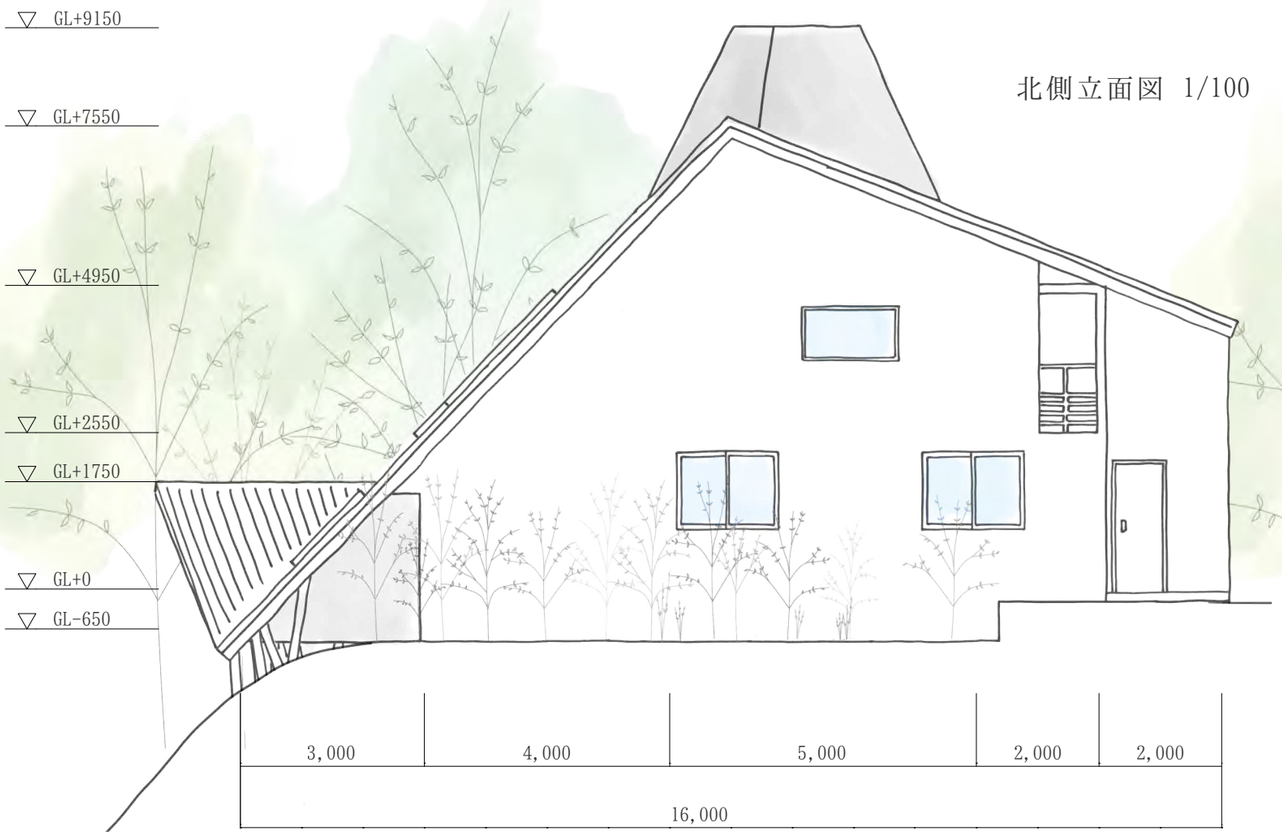
経年とともに色やツヤが変化していく無垢材を使用することで、10年後、20年後も木の材質の味が出て美しくなっていく。また音色も月日を重ねるごとに深みを増していく。

木のフィルター（拡散体）　　シラカシ

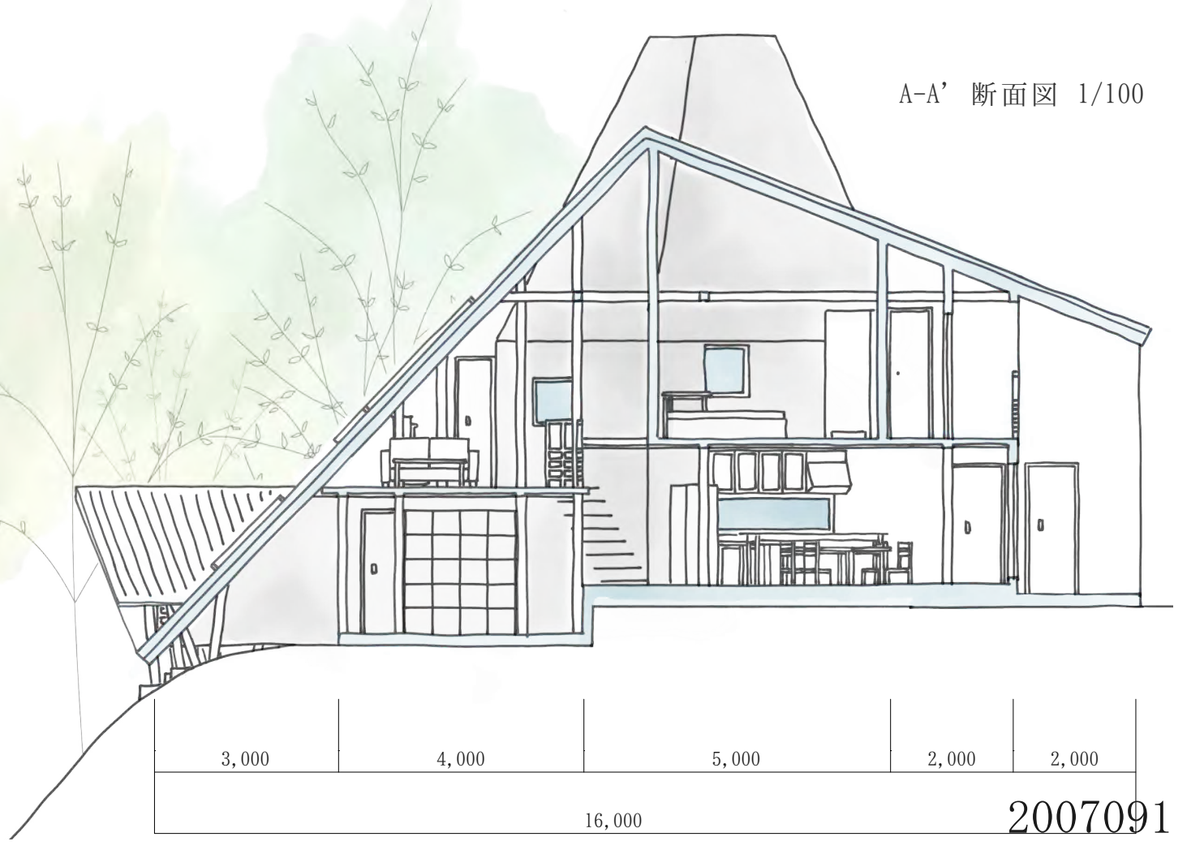
音を反射し、居室全体に拡散する拡散体として敷地周辺に植生しているシラカシの木を使用した。等々力渓谷の自然環境を住宅内部にまで再現することで自然との連続性を考慮した。

＜面積表＞

1F床面積	155.0㎡
・居室空間	117.1㎡
・音空間	37.9㎡
2F床面積	120.3㎡
・居室空間	120.3㎡
・音空間	0㎡
延べ床面積	275.3㎡
・居室空間	237.4㎡
・音空間	37.9㎡
建築面積	165.2㎡
敷地面積	297.4㎡
建蔽率	56%
法定建蔽率	60%
容積率	93%
法定容積率	200%



北側立面図 1/100



A-A’ 断面図 1/100

2007091